



## 献血時に血液検査(病原体検査)を行うのはなぜ?

**A 献血した血液に病原体が入っていないかを調べ、輸血用血液に病原体が混入するのを防ぐためです。**

病原体に感染している人の血液を輸血すると、感染が起こることがあります。そのため、献血されたすべての血液に対し、さまざまな病原体検査を行い、輸血用血液への病原体の混入を防いでいます。

その結果、現在では輸血による病原体感染はほとんどみられなくなっています。



病原体の  
感染を防ぐために  
行っている検査

- B型肝炎ウイルス検査
- C型肝炎ウイルス検査
- エイズウイルス(HIV)検査
- HTLV-1(ヒトT細胞白血病)ウイルス検査
- ヒトパルボウイルスB19検査
- 梅毒血清学的検査

極めてまれにウイルスに感染していない方でも陽性の結果を示すことがあります。

**Q 過去にB型肝炎ウイルス(HBV)に感染したことがあるが、現在は治っている状態であっても、今後の献血はできないの?**

**A 現在血中にウイルスがない(HBV-DNA陰性)とされても、HBC抗体が陽性の血液は輸血用に使用しないこととしております。  
より安全な輸血のため、どうかご理解ください。**

HBs抗原陰性かつHBV-DNA陰性であれば、普段の生活の中で健康上問題となることはほとんどありません。しかし、HBC抗体が陽性の方から献血された血液は輸血を使用しておりませんので、献血はご辞退していただくことになります。より安全な輸血のための対策であり、どうかご理解ください。

過去にB型肝炎ウイルスの感染を指摘された場合

## 再発の可能性はあるの?

最近の研究で、過去にB型肝炎ウイルス(HBV)に感染した人(自覚症状がない場合が多い)の肝臓中にはB型肝炎ウイルスが残存している場合があり、現在、血液中にB型肝炎ウイルスが検出されていても、重い病気にかかり免疫抑制の状態になると、まれに「肝臓に潜んでいたB型肝炎ウイルスが再び活性化し、増殖を始める」ことが知られています。

普段の生活に問題はありませんが、抗がん剤治療やリウマチ治療などの免疫療法を受ける場合や、移植等を受けられる場合は注意が必要です。

これらの治療を受ける際には、過去にB型肝炎ウイルスに感染したことがあることを医師にお伝えください。

### おわりに

日本赤十字社では、いのちを救うために欠かすことのできない血液を確保するため、皆さまに献血のご協力をお願いしています。

献血していただいた血液は、輸血用血液などに利用していますが、安全性を確保するため、さまざまな検査や対策を講じています。

本誌では、こうした安全対策の一環として実施している「B型肝炎ウイルス検査」について、その目的やあなたの検査結果について、ご説明しました。

献血のご協力に感謝するとともに、検査の結果をぜひあなたの健康管理にお役立ていただきますようお願い申し上げます。

日本赤十字社 血液事業本部

# 献血されたあなたへ

「今回献血された血液検査」の結果について  
ご説明します。



今回の献血時の検査結果から

**現在のあなたは、  
過去にB型肝炎ウイルス(HBV)に  
感染したことがあるが、  
現在は治っている状態です。  
健康上の心配はありません。**

- 日常の生活で特に注意することはありません。
- 病院を受診する必要はありません。
- 日常の生活で他人に感染させる心配はありません。

今後の献血はご辞退をお願いいたします。

**詳しい説明は、裏面へ**

監修 武蔵野赤十字病院  
院長  
泉 並木

## ● B型肝炎ウイルス(HBV)とは?

肝炎を起こすウイルスにはA型、B型、C型、D型、E型などがあり、B型肝炎は、B型肝炎ウイルス(HBV)が血液・体液を介して感染して起きる肝臓の病気です。HBVは感染した時期、感染したときの健康状態によって、一過性の感染(過去の感染)に終わるものと、ほぼ生涯にわたり感染が継続(持続感染:HBVキャリア)するものとに大別されます。

HBVは、主に血液を介して感染するため、患者さんへの輸血の安全性を確保する上で極めて重要なウイルスです。

日本国内でこのウイルスに感染している人は、約130万人～150万人と推定されています。

## ● B型肝炎ウイルス感染を調べるために検査項目と感染状態

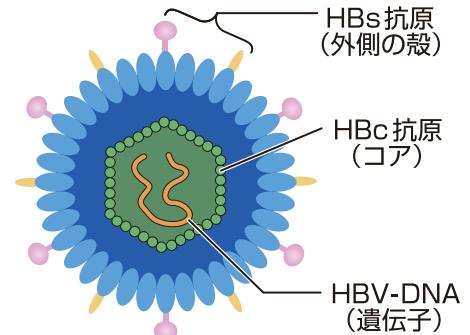
	HBV-DNA	HBs抗原	HBc抗体	HBs抗体	感染状態
①	陽性	陽性	※	※	現在、感染している。 (血液中にウイルスがいる。)
②	陽性	陰性	陽性	※	過去に感染したことがある。 (血液中に微量のウイルスがいる。)
③	陰性	陰性	陽性	※	過去に感染したことがある。 (血液中にウイルスがない。)
④	陰性	陰性	陰性	陽性	<ul style="list-style-type: none"><li>過去に感染したことがある。 (血液中にウイルスがない。)</li><li>HBVワクチン接種</li></ul>
⑤	陰性	陰性	陰性	陰性	感染したことがない。

注) ※: 陽性、または陰性

あなたの検査結果は

「③、過去に感染したことがある。(血液中にウイルスがない。)」です。

## ● B型肝炎ウイルスの構造



### HBV-DNAとは?

B型肝炎ウイルスの遺伝子です。  
陽性の場合は、現在、HBVに感染している可能性があります。

### HBs抗原とは?

ウイルスの外側を被うたん白質です。  
陽性の場合は、現在、HBVに感染している可能性があります。

※6ヶ月以上持続してHBV-DNAあるいはHBs抗原が陽性の人をHBVキャリアといいます。

### HBc抗体とは?

HBc抗原に対する抗体です。  
陽性の場合は、現在、HBVに感染しているか、または過去に感染したことがある状態です。

### HBs抗体とは?

HBs抗原に対する抗体です。  
(HBVの感染を防御する働きがあります。)  
陽性の場合は、過去にHBV感染したことがあるか、または、ワクチン接種によりHBVに対する免疫を獲得した状態です。

# **Q&A ~皆様の疑問にお答えします~**

以下に、多くの皆様から寄せられる質問とその回答例を示しました

## **Q. 自分はB型肝炎になったことはない、何かの間違いではないか？**

- B型肝炎ウイルスは感染しても大部分の人は気づかないまま治ってしまうため、自分が感染したことがあると認識している人は稀です。  
日本においてはこのB型肝炎ウイルスに過去に感染したことがある人は非常に多く、特に50代以上の年齢の方では3~4人に一人の頻度で過去の感染が認められます。

## **Q. 自分はB型肝炎ウイルスに感染しているの？**

- 現在感染している状態ではありません。過去に感染したことがあるが、現在は治っている状態です。

## **Q. 健康診断を受けているがB型肝炎について指摘されたことはない！**

- 通常B型肝炎の健診での検査は現在の感染を調べる「HBs抗原検査」のみで、血液センターが調べている「HBc抗体検査」は実施されておりません。また、このお知らせをお送りしている皆様は現在、治っている状態（「HBs抗原」陰性）ですので、病院でB型肝炎について指摘されることはありません。

## **Q. 自分はいつ、どのように感染したのか？**

- いつどこで感染したのかを特定することは困難です。  
感染経路としては、母子感染、性行為感染、血液感染、昔の医療行為（同一注射器で複数の人への予防接種など）があります。

## **Q. 病院に行く必要はないの？**

- 普段の生活には健康上の問題はありませんので、今回のお知らせで医療機関（病院）を受診する必要はありません。

## **Q. 他人に感染させる心配は？**

- 血液中にB型肝炎のウイルスは見つかっていませんので、普段の生活で他人に感染させる心配はありません。